



<ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2024年04月22日

ベトナム国家銀行が為替介入の意向を表明

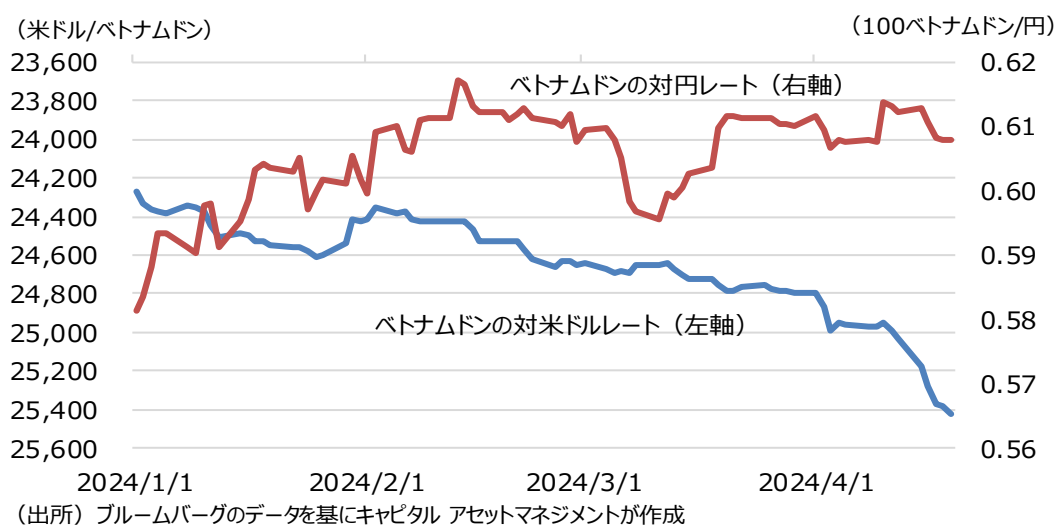
ベトナム国家銀行(中央銀行)のホームページ(ベトナム語)によれば、4月19日にハノイで開催した記者会見において、ダオ・ミン・トゥ常務副総裁は「為替相場が不利益な展開になった場合、直ちに為替介入を講じる用意がある」旨を表明した。外国為替市場は米ドル1強の様相を呈しており、ベトナムドンは米ドルに対して年初来(4月19日時点で)約4.9%下落している。この為替介入に向けた意向表明には、ドン安に歯止めをかける狙いがある。

NNA社の記事によれば、1米ドル=2万5,450ドンで国内金融機関に米ドルの供給を始めると発表したとのことであるが、当社の調べでは、このオファーに応じたベトナム内の商業銀行はなく、為替介入が実行された事実は確認できなかった。

対米ドルでのベトナムドン安の要因としては、米国金利の低下見通しが後ずれしたことが大きい。地政学的リスクの高まりや国内製油所のメンテナンス計画を受けた石油製品の輸入増見通し、外国人投資家によるベトナム株式の売り越しなどが影響した可能性も考えられる。なお、下に掲げたチャートのように、日本円に対してベトナムドンは比較的安定的に推移している。

当社では、今回の意向表明後のベトナム金融当局や市場の動向を注視しており、その進展について引き続き報告していく。

ベトナムドンの対米ドル・円レートの推移(2024/1/1~2024/4/19)



以上

免責事項

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。